

科目番号	51008	分類		履修者	高度実践看護コース				学年
科目名	治療のためのNP特論 (Treatments for critically ill patients)								1
									担当セクター
									後期
担当者	○浦中桂一 他12名	区分	必修	単位	2	時間数	カリキュラム 特定行為研修(実時間) 研修対応時間	30 34.0	
授業の概要および目標					学位授与の方針と関連				
【概 要】 治療についての考え方をふまえて、クリティカル領域における治療法の科学的根拠をふまえた適応や治療法の特徴を理解する。治療継続にかかわる生体への作用・副作用等を理解し、治療計画の変更や終了などを判断するための知識を修得する。 【目 標】 1. クリティカル領域特有の治療に対する理解を深める。 2. クリティカル領域において遭遇する事例について治療の選択ができる。					○	1	クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力		
					○	2	クリティカル領域における患者に必要な治療を実践できる能力		
						3	患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力		
					○	4	専門職としての倫理的意思決定能力		
						5	高度看護実践者として、教育的経営的な視点をもつトップマネジメント能力		
						6	臨床実践に潜む暗黙知を形式知へと創出する研究開発能力		
					○	7	クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力		
授業計画									
回	内容								担当教員
第1回	I. 周術期の管理(7回) 1. 術前リスク評価とその予防的介入 ・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(小児科) ・在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習								浦中 他12名
第2回	2. 周術期に関する輸血 ・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(小児科) ・在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習								
第3回	3. 周術期の管理(創部ドレーン管理も含む): 消化器の手術 ・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(消化器系)								
第4回	・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(感染症・その他)								
第5回	・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(小児科) ・在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習								
第6回									
第7回	4. 周術期の管理(胸腔ドレーン管理も含む): 呼吸器の手術 ・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(呼吸器系)								
第8回									
第9回	5. 周術期の管理(創部ドレーン管理も含む): 脳の手術 ・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(神経系)								
第10回									
第11回	6. 周術期の管理(心臓・縦隔ドレーン管理も含む): 心・大血管手術 ・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(循環器系)								
第12回	7. 深部静脈血栓・肺塞栓予防 ・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(循環器系/呼吸器系)								
第13回	8. 術後の感染予防 ・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(内分泌・代謝系)								
第14回	II. 血液に関する問題 1. 輸血療法 ・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(血液・リンパ系)								
第15回	III. 虐待に関連する問題と対応 ・救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 ・在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習								
第16回	・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(免疫・膠原病系)								
第17回	・主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論(産婦人科)								
事前・事後学習	事前学習: 当日の課題に関し参考図書の内容を予習し理解して授業に参加する。 事後学習: 授業の内容を配布資料と参考図書等で復習する。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考にすること。								
評価の方法	筆記試験で評価する。フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。								
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								